

鮫島和子

日本を発つ時に、コンブ、ワカメ、ヒジキ、フノリ、ノリなどの乾物や加工品をいろいろ持つて行つたので、これらに英名と学名のラベルをつけて持参した。クラス生徒達のために海苔巻き寿司（太巻）をいっぱいつくり、昆布巻きやホーレン草の海苔巻きも用意した。その他、彼女達も知らない日本野菜の煮付け（タケノコ、ゴボウ、コンニャク、里芋、フキ、レンコンなど）や玉子焼き、菊花カブなどをつくって重箱につめて、実習用の太巻きの材料を持つててかけた。和服姿を見たいというのも彼女達の要望の一つだったので、学校では味気ないということから、ある生徒の家が教室になった。

メージからは、およそかけはなれたものであつた。公立の高校では大学と同じように角帽をかぶり、ガウンを着て式式をおこなう学校が多いと聞いていたが、この私立女子高校では全く違つていた。陽が西に傾く頃、生い茂った樹々は芝生の美しい校庭で式がはじまつた。彼女達は純白のロングドレスに包まれていた。ヴェールこそないけれども、それはウェディングドレスにも似たもので、各自の個性に合ったデザインで仕立てられ、全員が真紅のバラを手にして、卒業生一人一人について、特徴や進学大学を紹介し、お祝いの言葉をのべながら卒業証書と記念品を渡して握手をした。

高校二十四回卒 高井律子

昭和19年 武儀高女卒業後東京女高師、北海道

演奏会を終え、新年を迎えた私達「飛天の会」は、かねてからの念願であつた「少年少女合唱団」の計画を実行する事になりました。前回の演奏会で後援をしていただいた中日新聞社の御援助もあつて現在九十余名の団員に恵まれ、今年は第一回の演奏会を開催する事を目的として練習に励んでおります。

陸上	男子二位	女子二位
テニス	男子二位	
ラグビー	三位	
卓球	女子三位	
体操	男子四位	女子二位
剣道	男子二位	
柔道	一位	
水泳	男子二位	女子一位
中濃高校総体成績		女子二位

西部先生は昭和二十四年から二十九年にかけて関高に在職され昭和四十六年岐阜高校を御退職になり、現在は大垣高校に講師としてお勤めです。美濃市生櫛にお住いです。

中村保先生が、インド・ネパール旅行からお帰りになりました。次回は旅行記をと期待しています。

本会報をお読みになっての感想、支部・クラス会の様子などご投稿下さい。

同窓会長 大塚暉夫

一、会の目的を達成させるには？
二、充実した会にするには？
三、会員の皆さんに喜んでいただくには？
と、たえず考えておる次第であります。

お願いいたします。

新築された広大な体育館のステージに、会員の皆様の御芳志により高級ピアノを御寄贈くださったのは、つい先ごろのように思われますが、記

いっばいの努力を傾けなければならぬという決意に燃えたことでした。

本年度卒業する三百十四名の生徒諸君は、新たに関高同窓会員として皆様の仲間入りをすることになりました。卒業生の進路情况も、円高不況を反映して、大学進学見直しによる就職志望者の増加が見られ、約四十名が卒業とともに

が、風雪三十年、四月にはくの中舎の半ばがその姿を消すうとしています。

しかし、新しい特別教室は西の通用門をくぐった正面にその偉容を誇り、最新の設備を整えて、これから後在校生の学習に益するところが大きいと思います。

木造校舎は理科棟を残すのみとなりましたが、これも数

合は、代理の方をお願
いたします。

関高等学校同窓会長
大塚 暉夫

同窓会幹事各位
記

定例幹事会
日時 昭和五十三年
五月十三日(土)

場所 関高等学校会議室

議題 (1)事業報告
(2)会計報告

学校長 佐合久一郎

寄せられた後輩に対する期待と励ましは、何十年にわたる歲月の隔たりを現在の時に融合し凝集して、純粹に母校をも着々進んでおります。

幹事会のお知らせ

思う麗しくも尊く力のこもった男闘気にて、私自身も強く心を打たれ、感激と感謝のうちに、関高校の興隆のために精いっぱい努力を傾けなければならぬという決意に燃えたことでした。

本年度卒業する三百十四名の生徒諸君は、新たに関高同窓会員として皆様の仲間入りをすることになりました。卒業生の進路情況も、円高不況を反映して、大学進学見直しによる就職志望者の増加が見られ、約四十名が卒業とともに

武儀高女時代の寄宿舎も移転改装されて、美術・音楽の教室として使用され、昔日たてぶよすがとなっていました。が、風雪三十年、四月にはこの中舎の半ばがその姿を消すうとしています。

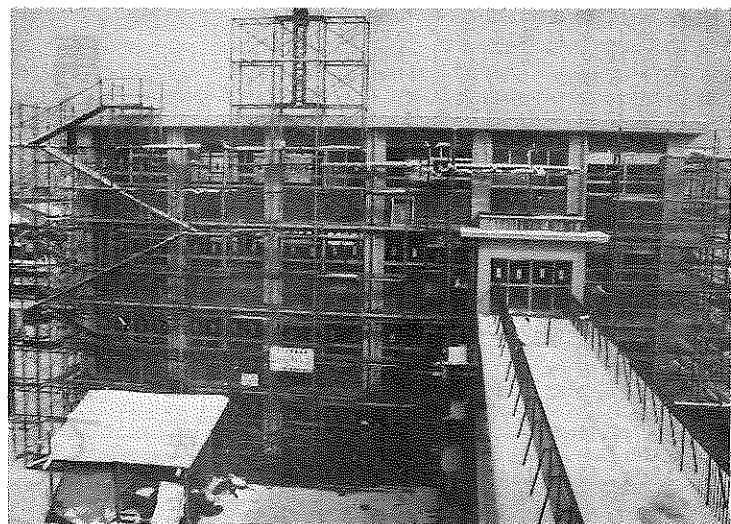
しかし、新しい特別教室は西の通用門をくぐった正面にその偉容を誇り、最新の設備を整えて、これから後在校生の学習に益するところが大きいと思います。

木造校舎は理科棟を残すのみとなりましたが、これも数

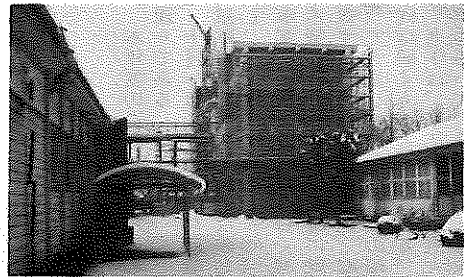
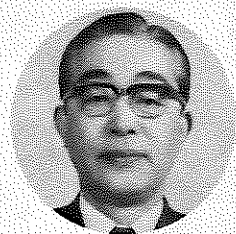
定例幹事会
日時 昭和五十三年
五月十三日(土)
場所 関高等学校会議室
議題 ①事業報告
②会計報告

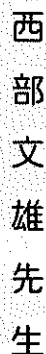
関高等学校同窓会長
大塚 暉夫
同窓会幹事各位
記

定例幹事会を左記要領
で開催いたしますので、
ご出席をお願いいたしま
す。なおご都合の悪い場
合は、代理の方をお願い
いたします。



写真は完成間近かな特別教室棟





馬齡のみ重ねて

「一八〇平方キロのイースター島。草原に遊ぶ約三千頭の野生馬と何千年もの間、醜い具現だとお許し下さい。に囲まれた世界文化の謎の島わず」としておられるであらうか。とんだばやきになって申し訳ありません。これも老

陽に向かつて人間の幸福を折りつづけてきつ立つる千余のモアイ（人間像）。そこに住む千八百余の土民は「足るを知る」の幸福な生活をつづけ、今後もつづけて行くであろう。また、アマゾン源流の裸族の物々交換の世界。時間と組織

あと数年をまたずに従心の年を迎えると言いましたが、さて何が残ったであろうか。「五技鼠（ごぎそ）」とか「五技に窮す」という故事があります。むささびは、飛ぶ、泳ぐ、木のぼり、穴ほり、の五つの技を持っている

にしまられない社会。獣と同居共存する平和な世界。Aさんは現代の科学文明と精神文明との不調和を力説して嘆いて話されました。

水上勉さんもいつか、掛斐の淡墨桜や、「桜守り」に取材されている御母衣タム湖畔の動物だそうです。しかし、動物もこれらが、中途半端な技術でも、十分身を守ることでいいので、「窮する」わけがないので「むささび」ほどの、私などは「むせんし」、移り気五枝もありませんし、根気のなさで、この年になっても、何一つ徹したものがありません。

荊川様から来る看ことに可憐
 な花をばいいつけて、人々
 の心を樂しませている、名
 もなき庶民の愛の手で守ら
 れてきたからである。文明と
 か文化とは、こういうことを
 いうのであると講演されたこ
 とがある。文明の名をかり、開
 年ほど外務省監督下で研究し
 たいのは残念至極です。年を

異の字をかりてこの美しい
 國土を破壊し、公書をまき散
 らしてゐるのが一体文明とい
 えるであらうか。この意味で
 Aさんの話ですががしい思
 いで聞いたわけですよ。
 現代文明の中にひそむ不信
 不正、不倫、不軌、非行、非
 道、非法、非礼、等々、なん
 と否定形行爲の多いことだ
 ろう。これで私だけが「耳順
 子國画伝をそろえて、竹と蘭
 同時に、研究所が解散となり
 仕方なく教員に転向したとし
 んに暇なすを口実にやめてし
 まったのです。以後、戦争の
 重みにおしつぶされて空白の
 生活のあけ暮れでした。そう
 かと言つて、身を亡ぼすよう
 な芸も趣味もない。若い頃、
 四君子ぐらいいはと思つて、
 竹と蘭

私のやることは、矢張り漢學に關係するもの以外はないと、まず漢詩に取り組んでいまず、和歌の「本歌取り」を模して、万葉歌の「五言絶句訳」をはじめました。まず作り易い叙景的なものから手をつけましたが、もちろん押韻と平仄合わせに精一ぱいで、微妙な情趣などは全く表現されてはいません。数首をご笑覧に供しますので、ご高批ください

鳴禽 山部赤人
芳野人家遠。象山林樹深。
関々還啼々。昼日有鳴禽。
(み芳野の象山の際の木末に
は幾許も騒ぐ鳥の声かも)
こんな調子ですが、こんどは
じっくりやろうと、とばしい
詩情をかりたてています

とりとめもなく近況を書き
ましたが、最後に、僅か四年
間でしたが、関高で受けた先
生方や生徒諸君の恩情を心か

い。春 權 志貴皇子
潺湲溪水響。激石入清潭。
知得春光到。蕨芽萌兩三。
（石激る垂水の上のさ蕨の萌
え出づる春になりにけるか
も）
高樓眺望 持統天皇
ら感謝いたします。学区制の
当初で、関高も創業の時代で
出たから、新しい高校を創り
しうかとする活気と熱気があ
ふれていたことが強く心に残
っています。
昭和十八年に東京から帰郷
し、加納高女、加納高、関高

香來山下邑。一望映清輝。
春過得迎夏。家々乾白衣。
(春過ぎて夏来るらし白妙の衣はきたりたる香來山)
鹿鳴 崗本天皇
紅葉倉山暮。呦々有鹿鳴。
思他得其宿。入夜絕無聲。
(夕暮は小倉の山に鳴く鹿



は今夜は眠かす寝宿にけらしも)

くぐんてくれた縁(ゆかり)の深い学校として何時までも思い出の世界に誘ってくれます。せがれの直孝がご厄介になっている今、一層この感を深くします。学校のわきを通るたびに、校地整理に汗を流したことや、テニスコート造



にトラツクで炭ガラを運んだ
ことなどが思い出されます。
体育館の竣工からはじまつて
着々と新校舎が建築されてい
くように頼もしい限りです。
恐らく、新しい革袋に芳醇な
うま酒が盛られる”ことと信
じます。関高の一層の発展隆
昌を祈って拙い筆をおきます

(一九七八・一・二〇記)

進路状況

十月一日より始まつた就職

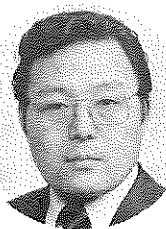
	第一志望別人数			出願延人数		
	男	女	計	男	女	計
国公立大	85	28	113	150	30	180
私立大	83	18	101	695	106	801
短大	2	31	33	7	118	125
専修学校	8	15	23	26	31	57
就職	19	23	42	18	21	39
合計	197	115	312	896	306	1202

※就職内定者数

誇りあるまちづくり

高校十回卒

石丸繼治



を計画し、活躍しております。そして各々のJICが、その地域に合った地域ごとのJIC運動と日本青年会議所で統一した計画で西ドイツ・ゾーリンゲンとの交流の一環としての事業の一つです。

また関市の文化、教育、行

同窓生寄稿



同窓生寄稿



一した事業を行っております。政にも協議した幾多の事業にも参加し、スローガンに掲げられるように、関市が対外的に誇れる全体的な事についても会員一人一人が、仲間を通じて

さて、私は本年度、会員の
中に「友愛と協調」、そして
「未来に向い、育てよう若い
力」をめざす誇りあるまち
運動をスローガンに掲げ、
運動に参加出来ます。

全ての事業にこの精神を生かして行動してほしいと訴えております。我々は歴史あるJCとして会員一人一人が自覚し行動を致しております。そして多くの先輩によって築かれ

今後一層のご支援とご協力をお願いし、私の近況の報告と致します。

* * *

の再会

上井行子

人をお子さんを、夫々の社会に送り出されて内助の功も著しい方など、どの皆さんもきびしい社会の中に、重要な位置を占めておられるのを知り、出来ることなら、お一人りお一人りの歩かれた軌道を報じたいのでございます。

在学時代、特に「いしやぎ過ぎ」の評があつた八回生でございますので（悪言深謝）いつの間にか昔に返って、青谷さんの「ヨーロッパ漫遊記」に爆笑したり、佐々木さんの自然食野菜に「へー」とばかり感嘆して、あちらのこちらの話題に花が咲き、「うたな いましよ。」との首頭取る人を嘆かせると一幕もありました。が、やがて可児さんを中心にしたあの懐しい「春去り来れば」の大合唱となり、五十年の才月を忘れさせる美声に、辛だつた日を憶い、若き日恋しと胸せまるものが込み上げてまいりました。

四年生の時十周年の式典がありましたので、間もなく六、七十年を迎えるに当り、卒業してからもう半世紀が過ぎて

五十年目の再会

高女八回卒

上井行子

人を、お子さんを、夫々の社会に送り出されて内助の功も著しい方など、どの皆さんもきびしい社会の中に、重要な位置を占めておられるのを知り、出来ることなら、お一人りお一人りの歩かれた軌道を報じたいのでございます。

在学時代、特に「はしゃぎ過ぎ」の評があつた八回生でございますので（悪言深謝）いつの間にか昔に返つて、青

いましょう。」との音頭取る人を懐かせる一幕もありましたあ、やがて可児さんを中心にあの懐かしい「春去り来れば」の大合唱となり、五十年の才月を忘れさせる美声に、辛だつた日を憶い、若き日恋しと胸せまるものが込み上げてまいりました。

四年生の時十周年の式典がありましたので、間もなく六、七十年を迎えるに当り、卒業してからもう半世紀が過ぎて

